

議 事 録
(平成 27 年度 第 2 回総合教育会議)

日時：平成 27 年 4 月 28 日（火）

15:00～15:35

会場：市長室

出席者 笠岡市 笠岡市長 三島紀元
笠岡市教育委員会 教育長 浅野文生
教育委員 廣井滋季 三谷信恵 谷 喜一朗 藤井正敏
事務局 福尾教育部長ほか

事務局 これより、平成 27 年度第 2 回総合教育会議を開会いたします。
開会に当たりまして、三島市長から御挨拶をいただきます。よろしくお願いいたします。

三島市長 （市長挨拶）

事務局 ありがとうございます。続きまして、浅野教育長より御挨拶をお願いいたします。

浅野教育長 （教育長挨拶）

事務局 ありがとうございます。それでは、議事に入らせていただきます。
議事の 1 の「教育大綱の策定について」でございます。まず、別添の大綱案につきまして事務局から説明させていただきます。

事務局 （大綱案を朗読）

事務局 この大綱案は市長の指示を受けて作成したものでございます。

三島市長から大綱案に対するお考えをお願いいたします。

三島市長 御覧のとおり、あくまで教育行政の重点目標を基本にして、基本理念、それぞれの基本方針を掲げさせていただきました。第 1 章のはじめにの中に、地方創生という言葉を書き記述いたしました。笠岡市の地方創生の戦略ビジョンにも教育という項目を掲げております。国から示されたものには教育というものはありませんでした。国からは、「安定した雇用」、「新しい人の流れ」、「若い世代の出産・子育て」、そして「時代に合った地域づくり」の四つでしたが、その中にもう一項目「子どもが健やかに育つ環境をつくる」というのを加えて、笠岡版の総合戦略を策定しようとしています。そのあたりを踏

まえて、ここへ書かせていただいております。これから教育振興計画を策定する中で、どこまで具体的な色が出せるかなと期待しながら、基本理念と基本方針を掲げております。この大綱案を提案させていただいて、皆様方の御意見をいただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

事務局 それでは委員の皆様の御意見をお願いいたします。

浅野教育長 一つ文言の修正と言いますか、付け加えになりますようお願いいたします。大綱の位置付のところで、下から2行目「『第6次笠岡市総合計画』の下、重点施策である教育施策」を「『第6次笠岡市総合計画』の下、重点施策の一つである教育施策」にした方が良いと思います。他にも重点施策はありますので、その方が良いと思います。

藤井委員 この案は「第6次笠岡市総合計画」と教育委員会が考えている教育行政重点施策が誠に上手く整合が取れていて、とても良いのではないかと思います。

三島市長 どうしても総合計画の下で教育行政の重点目標を掲げるわけですから、そのあたりは考えていく必要があると思います。

藤井委員 国の振興基本計画の流れが、大体、市の方へも上手く生かされていると思います。

三島市長 ありがとうございます。

三島市長 ここで地方創生の荒削りの案ですが、教育振興計画に載せられるのではないかと思う原案のようなものをお示ししたいと思います。具体的なものがあれば話が進めやすいと思います。

事務局 （追加資料配布）

三島市長 今新たにお配りした資料の「エ」の「子どもが健やかに育つ環境をつくる」という文言を総合戦略の中に入れようとしています。そして項目としては、「教育の充実」があって、基本的方向としてそこへ3つ掲げております。その下の黒ボツが教育振興計画の具体例になるのではないかと思います。

浅野教育長 この中で地方創生という観点からすれば、郷土への愛着と誇りを育み、地域に貢献する人材の教育を図るという、この方向性のところが今まで少し弱かったと思っています。ここを少し強めて書くと、こういう書き振りになると思います。

地域再発見事業で、各地域における歴史・文化・文化財・人物などから、それぞれの地域が選択し、まちづくり協議会・公民館・学校が連携して進めると地域の人を主とする活動が出て来るのではないかと思います。郷土への愛着と誇りを育みというあたりのところを事業としたら、学校支援地域本部

事業というものがその下に書いてありますが、ここをさらに拡充する、或いはコミュニティースクールというものがあって、学校の企画・運営へ地域の人、保護者が参画するなど、コミュニティースクールと学校支援地域本部事業の拡充を図ることによって、地域再発見事業が動き出すという見通しはあります。ただ、地域の人を掘り起こさなくてははいけませんので、そのところが少し力が要るのかなという気はします。学芸員に聞くと、それぞれの地域にそれぞれ色々あるということですので、上手く掘り起こしていきたいと思います。

三島市長 これは笠岡市の自治基本条例にある「学校と地域の連携」にも関わってきます。教育長が申しましたように地域と連携することによって、郷土への愛着と誇りを育み、地域に貢献する人材の教育を図ることができるのではないかと思います。

三谷委員 この度、大綱を策定するに当たって、他の市も未だあまりしていないことなので試行錯誤しながらやっております。

まず、大綱案の「3 基本方針」のところで、「(1) 自立して共に生きる子どもを育てる学校教育の推進」の下に、四角で囲んだ部分があります。今はこれくらいの内容でまとまっていますが、どこまでをここに入れるべきなのか、或いは切るべきなのか難しいところがあります。

例えば、「ソフト・ハードの両面から子どもたちが安心して学習できる環境づくりを行います。」とありますが、ソフトとハードという文言は具体的にはどういうことをお考えでしょうか。

三島市長 教育振興計画が既にあれば、具体的にこういうことだと言うことができますが、例えばICTのようなものはソフトと捉えて、耐震化であるとか空調設備とかはハードと捉える環境づくりという考え方で御理解いただきたいと思います。

三谷委員さん御指摘のとおりで、これでもって次の段階で具体的な施策をどのように入れ込んでいくかだと思います。

三谷委員 はい。

では次に、「(4) 豊かな生涯スポーツの推進と競技レベルの向上」のところで、四角の中の一番下に「また、競技団体などとの連携を深め、競技力の強化を行います。」とあります。市の総合計画では、「いつでもどこでもだれでもスポーツが楽しめるまち」とあって、楽しむことに重点を置いた感じですが、「競技力の強化を行います。」という一文を見ますと、何か特定の競技

にお金を注ぎ込むとか、特別に予算を取ってプロチームでも作るのではないかという誤解をされないかどうか、そのあたりはどうお考えでしょうか。

三島市長 これは今、文化・スポーツ振興財団でスポーツ賞揚金を出しておりますが、賞揚金を出すことによってさらにそれぞれの競技に励んでいただくという意味合いでございます。

私の公約の中には「アスリートの育成」というのがありますので「競技力の強化」よりさらにハードルが高くなっています。例えば、この辺りでは井原市のように駅伝であるとか新体操の強化をされていて、それでもって全国に井原市を発信できています。そのあたりのことも考えていたのですが、現実的には、なかなか直ぐには難しいところがありますので、先ほどの賞揚金などで激励することで、向上していただければ良いのではないかと思います。

三谷委員 では、「競技力の強化を行います。」という文言はこのまま残しても良いということでしょうか。

三島市長 私は、このままで良いと思います。

三谷委員 はい、分かりました。ありがとうございます。

三島市長 平成27、28年度で総合スポーツ公園にテニスコートを整備しますので、スポーツレベル向上のきっかけになれば良いと思っています。

藤井委員 施設整備をするとよその地域の子どもが笠岡に来るというメリットがあります。今でも総合体育館や総合グラウンドは中学・高校の県大会、中国大会の会場になっています。今度、テニスコートが同じ総合スポーツ公園内にできれば、中学・高校の県大会、中国大会の会場になって、このことがスポーツレベルの向上に繋がればよいと思います。

三島市長 この大綱案は、基本的には教育委員さんが練っていただいた教育行政の重点施策を基に作ったものです。仮にこの案で良いということになれば、次の教育振興計画も描きやすいのではないかと思います。

三島市長 この間、県下の都市教育長会議がありまして、県の教育長さんも挨拶の中で、岡山県は県の教育振興基本計画を基に教育大綱を策定すると、はっきりおっしゃっていました。ですから、第1回総合教育会議のときに申し上げましたが、教育委員さんが練っていただいた教育行政の重点施策を基に作成することは間違いではないと思いましたし、それで良かったと思いました。

三島市長 それでは、よろしいでしょうか。この原案で先ほど教育長さんから意見があった箇所を修正することで大綱とさせていただきたいと思います。

ありがとうございました。今後は大綱を受けた教育振興計画を策定してい

たきます。その計画に沿ってこれからの教育を進めて行くことになりますので、また皆様にお示ししながら前に進めて行きたいと思います。

事務局 ありがとうございました。大綱については、一部修正をいたしまして体裁を整えてお届けするようにいたします。それでは、その他に入らせていただきます。何かございますか。

 今後の予定でございますが、教育振興計画は8月頃を目途に策定したいと考えております。できるだけ早く策定できるよう努めたいと思います。

浅野教育長 3回目の総合教育会議は10月頃になるでしょうか。

事務局 新年度予算に向けた政策評価がある頃が適当と考えますので10月頃になると思います。

三島市長 短期間に2回もお集まりいただきまして、ありがとうございました。

事務局 それでは、本日の議事は全て終了いたしましたので、平成27年度第2回総合教育会議を閉会いたします。皆様、お疲れ様でした。